

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1996. 2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 142

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 自然を感じる昼休み — 西新井の森から —

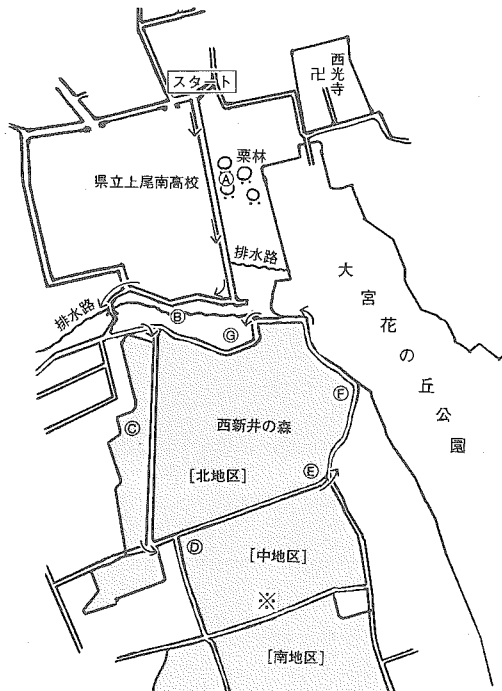
「西新井ふるさとの緑の景観地」これが正式な名前です。大宮市の北西部、大宮花の丘公園の西側の台地に広がる雑木林です。私の職場はここから歩いて10分位の所に在り、時間の許す限り、昼休みはバードウォッチングで過ごしています。今日は、このフィールドでの約1年間の観察記録をご紹介します。

観察時間は12:20~12:50（昼休み）、回数は延べ159回。

よくもまあ、これだけ通ったものです。右の表はここで見られた55種の内、出現率2%以下と通年見られる種類を除いたものです。じっくり見れば分かるとおり、出現率の高いのは一般的な普通種ばかりです。159回も通って1回しか見られなかった種類がかなりあります。

昼食を済ませると、双眼鏡を首に職場を飛び出します。10分程歩くと、図のスタート地点に到着。ここから落ち着いて探鳥開始。

A地点付近には栗林と野原、アシ原が広がり春にはキジ、夏にはオオヨシキリがよく現れます。



B地点は排水路沿いの草地と植木畑で春から夏にかけてホオジロのさえずる姿がよく見られます。排水路を渡ってよいよ森に足を踏み込みます。

C地点、北地区のメイン通り付近ではシジュウカラ、コゲラが出迎えてくれます。昨年冬の冬にはここでルリビタキの♂にも出会えました。たった1度ですが、道に張り出した小枝に止まっていたキビタキ♂とはちあわせしたこともあります。意外な鳥に出会えることがあるので、要注意です。

D地点。昨年6月、ここで何とコマドリの声が聞こえたのです。もっともその時は自分の耳が信じられず、翌日の早朝ビデオカメラを抱えて声を頼りに付近を探しまわり、※印の場所<sup>※</sup>で姿を見ることができました。その日から雨で、3日後に森に行ったときにはもう声も聞こえませんでした。

E地点付近は左手が笹藪、右手が針葉樹の植林となっています。冬場ここではチツという一声鳴きのホオジロspがいます。私には地鳴きでは区別できないのですが、アオジかカシラダカ、運が好いとクロジを視認することもできます。

F地点。この辺りまで来るともう昼休みも残り僅か。早足で通り過ぎようとするのですが、なかなかそうはさせてくれません。最近この辺にカシラダカがまるでスズメのように群れていて仕事に戻るのをじゃまします。

G地点。ここでもジョウビタキやシロハラが私の勤労意欲を殺いでくれます。

鳥たちの誘惑を振り切ってかけ足になりますが、職場の手前でチャイムが聞こえてきました。ああ・・・また今日も遅刻だ。

身近な雑木林でも毎日通っていると色々な

出現鳥リスト (大宮市西新井の森周辺)

月毎の出現状況 (出現率) : ◎ ( [ ] ≥50% )、○ ( 20 < [ ] < 50% )、△ ( [ ] ≤20% )

No.	鳥種名 (観察回数→)	1994年			1995年												全期間集計	
		10月 9	11月 3	12月 6	1月 10	2月 15	3月 15	4月 15	5月 8	6月 12	7月 7	8月 13	9月 10	10月 16	11月 7	12月 13	出現回数 (159回中)	出現率
1	カワウ							△	△					△	△	△	5	3%
2	コサギ	○		△		△						△	○	△	△	○	16	10%
3	カルガモ					△	△	○	○	△	△	△					13	8%
4	コジュケイ				△	△	○	△	○	○	△			△	△	△	21	13%
5	キジ	△				△	○	○	◎	○			○	○	○	△	32	20%
6	アカゲラ	○	○		○	△	△									△	9	6%
7	ツバメ							○	○	◎	○	◎	○				33	21%
8	ハクセキレイ	○	○	○	◎	○	○	○	△	○		◎	△	○	○	◎	57	36%
9	セグロセキレイ				○		○	△			△						8	5%
10	モズ	○	○	○	◎	○	△	△			○	△	△	◎	○	○	35	22%
11	ルリビタキ			△	△	○											5	3%
12	ジョウビタキ				△	○									△	○	8	5%
13	シロハラ				○	○	△	○								△	16	10%
14	ツグミ				◎	◎	◎	◎	△							○	49	31%
15	ウグイス				△	△	△		◎	△				△	○	○	21	13%
16	オオヨシキリ								◎	◎	◎						19	12%
17	キクイタダキ		○		△	○	○										10	6%
18	ヒガラ	△		△	○	○	◎	△									16	10%
19	ヤマガラ	◎	○	△		△	△	△									14	9%
20	メジロ		○	◎	◎	◎	○	○	○	△			○	△	◎		48	30%
21	カシラダカ			△	◎	△								○	◎		19	12%
22	アオジ			◎	◎	○	◎	◎					△	◎	◎		47	30%
23	カワラヒワ	△	◎	◎	◎	○	△	◎	◎	○	△	△		○	◎		57	36%
24	シメ			○	◎	○	○	○							△		22	14%
25	カケス	○	○	△	△	△	○	○					△	◎	◎	◎	44	28%
26	オナガ			△	○	○	△	○	△	○		○		○	△	○	30	19%
-	月別観察種	19	14	22	32	34	29	29	23	22	16	15	16	23	25	31	-	-

[出現率2%以下] コガモ オオタカ サシバ  
 チョウゲンボウ クサシギ カッコウ  
 アオゲラ ヒバリ キセキレイ サンショウ  
 クイ ミソサザイ コマドリ トラツグミ  
 アカハラ メボソムシクイ センダイムシク  
 イ キビタキ サンコウチョウ クロジ マ  
 ヒワ (20種)  
 [通年出現] キジバト コゲラ ヒヨドリ  
 シジュウカラ ホオジロ スズメ ムクドリ  
 ハシボソガラス ハシブトガラス (9種)



キジ (金井祐二)

ことが見えてきます。昨シーズンと今シーズンでは冬場の鳥の種類が異なりヤマガラ、ヒガラ、キクイタダキなどはまったく姿を見せません。これが環境悪化のシグナルでないことを祈りつつ、これからもできるだけ観察を続けたいと思っています。

虫の種類も豊富で、市内の自然愛好家たちのフィールドになっているようです。昨年、埼玉県と大宮市とで一部の土地を買い上げ環境保護に乗り出したという話も聞いています。

これからも、このような都市近郊の自然が残ること、そしてそのことに少しでも力になれることが、私の望みです。(浅見 徹)

最後に、この森は野鳥だけでなく植物や昆

### J I Z Z ( G I S ) とは何ぞや??

JAZZとかJISなら誰でも知っているでしょう。ところがこれはどうしてもJ I Z ZまたはG I Sなんです。バードウォッチング用語として英語を主とする欧米諸国ではかなり前から使われているようです。

パッと飛びたつた、あるいは通過した鳥を一瞬の中にその姿、形、大きさ、速度、などを総合的に判断し、識別してしまう神業的識別法です。

語源は戦闘機のパイロットの間で使われたGeneral Impression and Shape - 即ち、「全体的な印象と形」のG. I. S. からJ I Z Zへと変化したものです。おそらく第二次世界大戦の頃、パイロットの肉眼視力に頼っての空中戦でいかに早く相手を識別するかに生命をかけていた頃の産物でしょう。

バードウォッチングにおいて、このJ I Z Zは決して軽視できない価値があることが次第に広く認められつつあります。勿論、価値あらしめるためには日頃からの鍛錬が必要でしょう。

口では説明できないが、ずばりと識別してしまう名人芸をもった人を知っていますが、その打ち込みようは並大抵のものではありません。そのような人の J I Z Zこそ信頼に値するものです。

みなさんも一瞬の観察でぴたりとあてる J I Z Z に挑戦してみませんか?

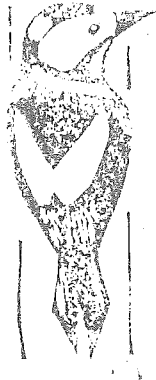


### 年賀状より

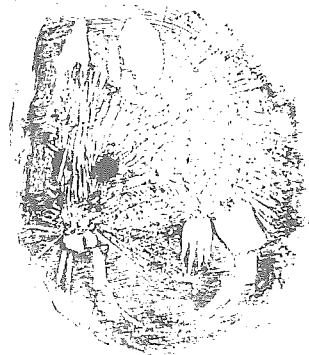
あけましておめでとう  
ございます



(増尾 隆・節子)



(高橋達也)



(中村 治)

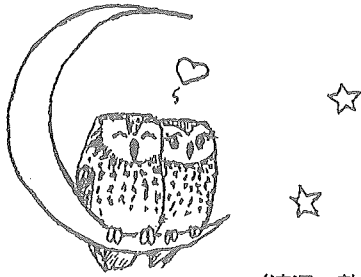


(神場真文)



(榎本菜摘野)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

◆2月3日、花の丘公園探鳥会は1月号をごらんください。

## 北本市・石戸指定例探鳥会

期日：2月4日(日)

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口。集合後、タクシーで現地へ。リーダーの指示で分乗して下さい。

担当：岡安、吉原、榎本、内藤、永野(安)、永野(京)、川那部

見どころ：雪に縁の深い2月の探鳥会、白銀に飛ぶベニマシコもいけれど、やはり安全第一で晴天を祈ります。12月に振られたタカやキツツキを熱烈願望!!

## 大宮市・深作川流水池探鳥会

期日：2月4日(日)

集合：午前8時45分 JR宇都宮線東大宮駅東口(集合後バスで現地へ)。または9時15分アーバンみらいバス折返場

担当：中島(康)、林(慎)、吉安、中村(栄)、玉井、浅見(徹)

見どころ：地味な色合いながら、細かな模様が美しいオカヨシガモはこの定番です。じっくり観察できますよ。

## 浦和市・民家園周辺指定例探鳥会

〈差間コース〉

期日：2月4日(日)

集合：午後2時45分 浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前

交通：JR浦和駅西口バス一番乗場、東川口駅北口行き14:10または14:22発に乗車、念仏橋下車

後援：浦和市くらしの博物館民家園

解散：午後5時頃

担当：手塚、伊藤、工藤、桜庭、新堂、笠原  
見どころ：夕暮れにかけて鳥たちの様子をのぞいてみましょう。コミミズクに会えれば寒さなんか忘れてしまいますよ。

## 長野県・善井沢探鳥会

期日：2月4日(日)

集合：午前9時15分、信越本線中軽井沢駅前  
交通：特急「あさま1号」大宮7:22→高崎8:10→中軽井沢9:02着

解散：午後2時頃、現地にて

担当：町田、小池、佐久間

見どころ：ウソやベニマシコなどを探して、北軽の別荘地、湯川沿いのコースを歩きます。長倉神社でレンジャク達に会えれば最高です。積雪、降雪に備えて防寒と足擦えは充分にして下さい。

## 熊谷市・大麻生指定例探鳥会

期日：2月11日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：小池、森本、田口、中島(章)、和

田、石井（博）

見どころ：3月の探鳥会では見られないかも知れないコハクチョウに会いに行くか。それとも冬鳥のそろった野鳥の森に行くか。うーむ。結論は当日発表！

#### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月11日（日）  
集合：午前9時10分 西武線西武球場前駅前  
交通：西武狭山線西所沢8:59→西武球場前  
9:04着  
担当：三田、石井（幸）、長谷部、杉本、藤原（佳）、小野、中村（祐）、山本、久保田  
見どころ：玉湖神社でキクイタダキを、湖ではホオジロガモや繁殖羽のカムリカイツブリを探しましょう。

#### 大宮市・大宮市民の森探鳥会

期日：2月11日（日）  
集合：午前8時10分 JR宇都宮線土呂駅東口、または午前8時30分 市民の森入口前（土呂駅東口より東へ徒歩5分）  
担当：林（慎）、松井、桜庭、工藤、藤原、中村（栄）、浅見（徹）、森  
見どころ：久しぶりの「市民の森探鳥会」です。橋や学校ができて周辺的环境も変わっていきませんが、小鳥やカモ類は見られます。身近にあって気軽に楽しめます。

#### 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月11日（日）  
集合：午前7時30分 丸山公園北口駐車場  
交通：JR高崎線上尾駅西口4番バス乗場より西上尾車庫（畔吉経由）行き7:07発に乗車「前原」下車、徒歩10分  
解散：午前11時頃  
担当：乗田、吉原、阿久沢、丹、浅見（健）、永野（安）、永野（京）、川那部、宇原  
見どころ：梅に鶯の時季、初鳴きが聞かれるかも。一方アシ原にはオオジュリンが姿を見せています。11月末頃から時折

アリスイの姿も。初観察が楽しみな早起探鳥会ですよ。

#### 東松山市・物見山探鳥会

期日：2月12日（月・振休）  
集合：午前9時30分 物見山駐車場  
交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス鳩山ニュータウン行き8:56、9:12発に乗車、大東文化大学前下車、バス進行方向へ徒歩約5分  
担当：内藤、岡安、榎本、立岩、吉原、藤掛、岡野  
見どころ：東松山市民の森、岩殿観音、物見山と巡ります。昨年の春は何年ぶりで催して好評でした。冬鳥を観察しながら森林浴コースを歩きませんか。

#### 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：2月12日（月・振休）  
集合：午前9時 東武東上線柳瀬川駅前  
担当：高草木、石井（幸）、佐久間、下川、村上、中村（治）、中村（祐）、神場、遠藤、志村  
見どころ：初心者だから、様子が判らないからと参加をためらっている方はいませんか。そんな貴方に特別バージョンで、田んぼの貴公子タゲリがお待ちしています。気軽にご参加下さい。

#### 群馬県・真妙義探鳥会

期日：2月17日（土）  
集合：午前9時20分 JR信越本線横川駅前  
交通：特急「あさま73号」大宮7:52→高崎8:44→横川9:08着、または大宮6:56→熊谷7:38→高崎乗継→横川9:17着  
解散：午後2時頃 現地にて  
担当：松井、中島（康）、桜庭、佐藤（進）  
見どころ：イヌワシが舞い上がる一瞬を見ることがあります。空を見上げながら昼食を頬張っているときと訪れます。そしてその感激は忘れ得ぬものになるでしょう。防寒・足揃えはしっかりと。

### 清川町 武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月18日（日）

集合：午前9時30分 森林公園南口入口前

交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バスに乗車、終点下車

費用：参加費のほかに入園料390円、子供80円

担当：内藤、岡安、吉原、榎本、石井（幸）、佐久間、長谷部、藤掛

見どころ：梅まつりの始まった森林公園、アフターは満開の下でお弁当を揚げよう。でもその前に、しっかり探鳥を楽しむことで身も心も壮快になりますよ。

### 浦和市 三宮地区定例探鳥会

期日：2月18日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後バスで現地へ）。または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、伊藤、笠原、若林、倉林、岡部、兼元、嶋田、森

身どころ：二月は一番寒いときだが、ハマシギの白い飛び立ちに寒さを忘れる。遠くの秩父の山々もはっきり見え、春も、間近い見沼たんぼでもある。

### 福島県 いわき海岸周辺探鳥会（要予約）

期日：2月24日（土）～25日（日）

集合：午前10時45分 JR常磐線大津港駅前

交通：JR常磐線上野7:35発（普通）または特急「スーパーひたち」8:00発に乗車、水戸乗換9:45発にて大津港10:43着

費用：15,000円の予定（1泊2食付宿泊費、現地交通費、保険料、懇親会費を含む）現地迄の往復交通費は各自負担

定員：15名（先着順・県支部会員優先）

申し込み：通常はがきに住所・氏名・年齢・性別電話番号を明記して、中島康夫まで

担当：中島（康）

見どころ：海岸線、漁港を巡りながらシノリガモ、ウミアイサなどの海鳥、勿来関

ではベニマシコ、ウソなどの山里の鳥を見ます。防寒と足拵えは十分に。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。

### 【しらべと】会つめの会

とき：2月24日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

アフターのビデオや懇親会もお楽しみに。

### 坂戸市 高麗川探鳥会

期日：2月25日（日）

集合：午前9時 東武越生線川角駅前

交通：東武東上線川越8:12→坂戸乗換8:41→川角8:50着

担当：石井（幸）、高草木、岡野、青山、藤掛、久保田

見どころ：前年の2月は、ヒメアマツバメ、ヤマセミが出現し全員で確認した。今年はどうかな。春間近い高麗川の水辺を歩いてみませんか。

### 寄居町 玉流河原探鳥会

期日：2月25日（日）

集合：午前9時10分 秩父鉄道寄居駅南口

交通：秩父鉄道熊谷8:23発、お花畑8:19発、東武東上線川越7:55発、小川町乗継

担当：小池、田口、小淵、中島（章）、林（滋）、井上、新井、堀

見どころ：晩冬の静けさが漂う河原では、カワセミ、ヤマセミなどの水辺の鳥が、鉢形城址ではアオゲラやルリビタキなどが期待できます。河原を歩きますので足拵えは十分に。



ミコアイサ（手塚正義）

野鳥情報

- ハジロカイツブリ ◇12月9日、戸田市の戸田橋付近の荒川で1羽（高橋達也）。
- カンムリカイツブリ ◇11月26日、川本町の荒川ハクチョウ飛来地で1羽（新井巖）。
- ◇12月3日、戸田市の彩湖で17羽（陶山和良）。
- コアホウドリ ◇12月1日、上尾市の丸山公園周辺の住宅地の庭先で弱っていたところを上尾市職員に保護される。衰弱していたため、大宮市内の動物病院に運ばれる。発見された時には、外傷はなく比較的气元。
- 3日午後、茨城県の鹿島灘で放鳥（12月3日付埼玉新聞）。
- ダイサギ ◇11月5日、志木市の柳瀬川高橋付近で1羽（中村治）。
- チュウサギ ◇10月10日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで1羽（中村治）。
- アオサギ ◇11月17日、川越市の伊佐沼で1羽。コサギたちを引き連れ、干潟を悠然と歩く（中司隆由）。◇11月26日、原市沼で1羽（森永徳一）。◇12月3日、戸田市の



〒359 所沢市 山口790-2 ティンズマンション西所沢229 比企 裕



- 彩湖で24羽（陶山和良）。
- オオハクチョウ ◇12月31日、蓮田市貝塚の元荒川で成鳥1羽（中島康夫、玉井正晴）。
- トモエガモ ◇12月28日、戸田市の彩湖で♂1羽（高橋達也）。
- アカハジロ ◇12月3日、戸田市の彩湖で♂1羽（陶山和良）。
- スズガモ ◇11月26日、川本町の荒川ハクチョウ飛来地で♀1羽（新井巖）。
- ホオジロガモ ◇12月25日、戸田市の彩湖で♂1羽（高橋達也）。
- ウミアイサ ◇12月28日、戸田市の彩湖で♂1羽（高橋達也）。
- オオタカ ◇11月26日、伊奈町の伊奈代官屋敷上空で1羽。カラス2羽と争いながら飛んでいた（森永徳一）。◇11月28日、午後2時15分頃、大宮市指扇の自宅10階ベランダより1羽。東の空高く旋回。下方を通過のドバトをねらい急降下。失敗。当地では初認（松井昭吾）。
- ツミ ◇12月19日、坂戸市西坂戸の自宅近くの3丁目公園で♂1羽。木にとまっていた（増尾隆）。
- ハヤブサ ◇11月5日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで1羽（中村治）。◇12月



3日、戸田市の彩湖で1羽。幸魂橋の橋柱のてっぺんで長時間ジッとしていたが、突然飛び立ち、周辺を大きく一周。元の場所に戻って、また当分とまっていた(陶山和良・順子、中尾邦夫)。

チョウゲンボウ ◇11月26日、原市沼の新幹線の高架下で1羽(森永徳一)。◇12月5日、吉見町の吉見総合運動公園で1羽。枝先にとまっているノスリを再三襲う。その度にノスリは、羽ばたいて対抗する(内藤義雄)。◇12月8日、三郷市の江戸川松戸有料橋上空で1羽(岩瀬和志)。

ウズラ ◇12月4日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で2羽(高橋達也)。

コチドリ ◇12月1日、志木市の柳瀬川高橋～栄橋間の中州で3羽(中司隆由)。

タゲリ ◇10月22日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで2羽。今季初認(中村治)。

ハマシギ ◇10月22日、志木市の柳瀬川高橋～栄橋間で8羽。今季初認(中村治)。◇11月17日、川越市の伊佐沼脇の排水路の岸で1羽。足元から急に飛び立つ(中司隆由)。

イソシギ ◇12月3日、戸田市の彩湖で1羽(陶山和良)。

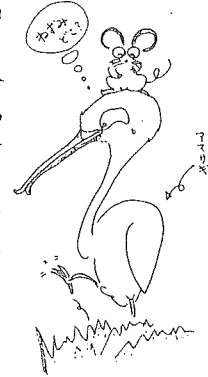
カワセミ ◇10月10日、志木市の柳瀬川富士見橋～高橋間で1羽(中村治)。◇12月3日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。

アオゲラ ◇12月11日、浦和市上野田のさぎ山記念公園近くの農家の渋柿をツグミと一緒に食べていた(宇恵昭良)。◇12月17日、深谷市の仙元山で1羽(村岡浩)。

ルリビタキ ◇11月26日、伊奈町の伊奈代官屋敷林で♂1羽(森永徳一)。◇12月3

## 謹賀新年

昨年は、甲府支部では初めてのバード・サンクチュアリが、山梨県基崎市にある鈴木初代支部長の旧邸に誕生しました。今年、市民探鳥会を通じて新しい「鳥仲間」を増やして行きたいと思っています。また、「やまなしの野鳥情報」の収集にも取り組みます。



平成八年元旦

地球と人と野鳥となかよし

日本野鳥の会甲府支部  
支部長 中村 司

〒400 甲府市伊勢2-17-18  
☎0552-32-1844

日、秩父市の羊山公園で♀1羽(山岸昭治)。

エナガ ◇12月3日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。

ヒガラ ◇12月3日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。

ヤマガラ ◇12月3日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。

ゴジュウカラ ◇12月17日、深谷市の仙元山で1羽(村岡浩)。

カシラダカ ◇12月29日、浦和市代山の浦和学院高校野球部グラウンド付近の林で10羽以上(藤原寛治)。

カケス ◇12月3日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。◇12月28日、浦和市代山で3羽(藤原寛治)。

### 表紙の写真募集中!!

今月号の表紙の写真は、東松山市・岩崎雄二さんのジョウビタキ。支部宛ての年賀状の写真を使わせてもらいました。

12月号でもお知らせしましたとおり、表紙の写真をただ今募集中。キャビネくらいの大さきのプリントに、20字10行程度のコメント

を添えてお送りください。ビデオプリントでもかまいません。

作品はお返してできません。採否は編集部にお任せください。表紙ではなく、カット写真として使わせていただく場合もあります。

季節感あふれる作品をお待ちしています。

# 行事報告



11月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 54人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ ノスリ チョウゲンボウ シロチドリ ハマシギ クサシギ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) 穏やかな一日。今年もやってきたコハクチョウを見ようと、明戸へのコースを選んだ。途中、養護学校付近の雑木林では、コゲラが枯れ木を夢中でつついていて、皆じっくり見ることができた。明戸堰の上流まで足をのばして、少し遠かったけどコハクチョウに挨拶。この日は25羽で、これから更に増える。(森本國夫)

11月12日(日) 桶川市 川田谷

参加: 31人 天気: 晴

カワウ コサギ コガモ ノスリ タゲリ クサシギ イソシギ タシギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 江川の岸辺でクサシギやイソシギを観察。飛び交うセキレイはハクセキレイがほとんど。探鳥コース最北端でやっと田圃に降りたタゲリに出会えてホッとした。そばにはタシギとタヒバリがうずくまっていた。空にはノスリが帆翔。タゲリの渡来数が年々減少していることが心配。(岡安征也)

11月19日(日) 浦和市 三室地区

参加: 62人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ キジ バン タカ

ブシギ イソシギ タシギ セグロカモメ ユリカモメ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 芝川の堤の草がきれいに刈り取られていて、初冬の見沼のたんぼの風情。できるだけ鳥を驚かさないように注意して、久しぶりに土手を歩いた。違った角度から鳥を見るのも楽しい。コガモの翼鏡が日に映えてきれいだ。カモたちが少し驚いて飛び立つのを見るのも、ある面で生きている鳥たちを肌身に感じていいものだ。(楠見邦博)

11月23日(木、休) 深谷市 仙元山公園

参加: 26人 天気: 曇後晴

コサギ オオタカ ツミ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) 地元からの参加者も多く、この探鳥会も定着してきた感がある。また、レポートのためと千葉県から女子大生の参加もあり、リーダー全員は張切ったのだが……。瀧宮神社ではカワセミはあつという間に飛んでいってしまうし、ヒヨドリ、ムクドリがうるさく鳴くばかり、仙元山でも冬鳥はほとんど見られなかった。これは暖かい秋のせいかな、照れやの鳥が多いせいかな意見が分れるところ? (小池一男)

11月23日(木、休) 滑川町武蔵丘陵森林公園

参加: 53人 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハイタカ コジュケイ キジ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ

シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 西田沼に水がほとんどなく、カモ類の姿も全くなくビックリ。その代わり、カワセミのダイビング、小魚キャッチを見ることができた。鳥の姿も少なく、鳴き声もヒヨドリだけが元気という状態だったが、メジロの群れの下を通り、長沼ではオシドリの雌雄を全員で見られたのが幸이었다。ジョウビタキは出てもいいのに、見られずじまい。カワウが多く、そこここで飛んでいた。そのうちに、公園の沼はカワウで埋まるかもしれない。(内藤義雄)

11月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会  
ボランティア: 18人

赤塚義正、荒木恒夫、岩上照代、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、角田真喜子、門谷直樹、工藤洋三、倉林宗太郎、佐久間博文、鈴木啓紀、乗田 実、藤野富代、本間 秀、谷津弘子、渡辺喜八郎

11月26日(日) 長瀬町 宝登山  
参加: 60人 天気: 快晴

キジバト コゲラ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ウグイス エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (20種) 冬鳥は予想以上に種類、数とも少なかったが、ルリビタキが暖かさにつられてか、さえずりながら姿を見せてくれたし、カラ類も4種確認できた。また山道のもみじが陽に照されてキラキラ輝き美しかった。周囲のロケーションもすばらしく、気持ちよく歩けた。それにしても冬鳥はどこいったの? 次回は予約を入れておいた方がいいかも? (小池一男)

11月26日(日) 狭山市 入間川  
参加: 27人 天気: 晴

カイツブリ ゴイサギ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ トビ オオタカ チョウゲンボウ キジ イカルチドリ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガ

ラス ハシブトガラス (39種) 晩秋の青空に紅葉が映え、風のない絶好の探鳥日和。カワセミに始まり、オカヨシガモ、ゴイサギ、オオタカと次々鳥が現われ、稲荷山公園のビンズイ、トビまで目が離せない一日だった。しかし、カラ類が1種だけで、ヒバリとコゲラが見られないとは意外。(長谷部謙二)

12月3日(日) 本庄市 坂東大橋  
参加: 37人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ イカルチドリ タゲリ ハマシギ セグロカモメ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) からっ風をチョッピー体験しながら「気ままにバードウォッチング」のコースを歩く。オープニングでは、チョウゲンボウが見事にそれは見事にフライト&ホバリング。全員大喜び。牧草地のはずれの池では、カワセミが♂♀で出現し、じっくりポーズをとってくれMANY THANKS! カワアイサ君だけが、チョット外出中だったが、ヨシガモ、ホシハジロなど確認中突然のスクランブル。やはり上空にはオオタカ殿が潜んでいたのだ。ノスリ君も中州から5~6羽舞い上がり、ワシタカファンを喜ばせた。(町田好一郎)

12月3日(日) 北本市 石戸宿  
参加: 57人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ オオタカ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) エドヒガンザクラ前の林でヤマガラ、学習センターの近くでメジロやジョウビタキなどがじっくり観察できた。オオタカを見たのは、残念ながら一部参加者だけ。ベニマシコとの出会いは、次回に持ち越し。今年は冬鳥の到来が遅れているようだ。(岡安征也)

## 連絡 中長

### ●雑木林を守る住民運動に有志協力

昨年12月末近くになって、所沢市久米地区の鳩峰の緑を守る会（谷利夫代表・連絡先TEL 0429-23-6526児玉芳雄氏）から、至急署名運動の協力を求める連絡が入りました。近隣住民や幼稚園児たちの貴重な身近な自然である県立狭山自然公園内の雑木林が、資材置き場として伐採される危機が迫っている。既に4,000名の署名を集めて、市長や県知事宛てに要望書を提出するなどの運動を進めているが、今日明日にも伐採が始まりそうだ。何とか力添えを願いたいというものです。

既に12月の役員会議は終わっていて、次の1月15日の役員会議までは待てない状況でしたので、松井昭吾支部長と海老原美夫副支部長が協議し、県内各地の身近な自然が法律で規制できないままに次々と蚕食され、減少の一途をたどりつつある現状に日ごろから危機感を抱く者として、地元の人たちによる運動に共感し、支部という団体としてではなく、会員有志として協力しようと、12月23日(土)の袋づめの会と、24日(日)の講演会の会場で署名を呼び掛けました。

結果として計69名の署名が集まり、翌25日(月)には、同会宛てに送りました。

### ●『野鳥』誌は3・4月合併号

本部からの連絡によれば、財政逼迫の為、本部の『野鳥』誌は3・4月合併号として、3月末に発行することになりました。

つまり、1月末に2月号が発行された後、2月末には発行されず、次は3月末になるということです。

支部報『しらこぼと』は、変わらずに毎月発行します。ご安心ください。

### ●緑のトラスト推進大会

主催 (財)さいたま緑のトラスト協会

後援 埼玉県

日時 2月24日(土)午後1時から

会場 浦和市・埼玉会館小ホール

田部井淳子氏(登山家)の講演「世界の山々をめざして」ほか、研究発表、映画上映など。入場無料。定員500人。

往復ハガキに「緑のトラスト推進大会参加申込み」と、住所・氏名・電話番号を記載、2月13日(当日消印有効)までに、336 浦和市高砂3-15-1 埼玉県環境部自然保護課内(財)さいたま緑のトラスト協会(TEL 048-824-3661)へ。

### ●2月の事務局 土曜と日曜の予定

3日(土)普及部会議(4時から)

10日(土)編集会議(1時から)

17日(土)校正作業(1時から)

24日(土)袋づめの会(1時から)

(1月の予定の日にちが間違っていました。ごめんなさい。)

### ●会員数は

1月5日現在2,724人です。

## 活動報告

12月2日 普及部会議。

12月9日 1月号編集会議。

12月16日 校正(海老原美夫・工藤洋三・桜庭勇・内藤義雄・森本國夫)。

12月17日 役員会議(司会:高草木泰行、北本学習センター野鳥写真展の協力・評議員会への対応・探鳥会サブリーダーの構成見直しアンケート・その他)。

## 編集後記

数年前に、イスカ、ムラサキサギと、憧れの2種を立て続けに見てからというもの、鳥に対してイマイチ熱くなれなくなった私。これって、いわゆるひとつの“最終解脱”?と思っていたら、この元日、近所の小川でカワセミを発見! ひさびさにビギナー時代のような新鮮な感動を味わいました。

(小林みどり)

『しらこぼと』1996年2月号(第142号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)